



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月31日

上場会社名 トランコム株式会社
コード番号 9058 URL <https://www.trancom.co.jp/ir/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 神野 裕弘
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理担当 (氏名) 三田村 直毅 TEL (052) 939-2011
四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	41,692	0.3	1,944	3.0	1,990	△0.4	1,217	△7.1
2023年3月期第1四半期	41,556	4.9	1,888	△12.8	1,999	△9.2	1,310	△9.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,362百万円 (△27.1%) 2023年3月期第1四半期 1,869百万円 (8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	128.30	127.98
2023年3月期第1四半期	134.20	133.87

(注) 2023年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第1四半期連結累計期間については、暫定的な会計処理の確定による取得価額の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	71,274	48,978	68.0	5,151.68
2023年3月期	72,045	48,953	67.3	5,090.63

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 48,471百万円 2023年3月期 48,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	ー	68.00	ー	60.00	128.00
2024年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2024年3月期(予想)	ー	66.00	ー	66.00	132.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	85,150	1.5	3,635	△0.7	3,690	△3.0	2,426	△26.9	254.75
通期	174,570	4.1	7,500	0.8	7,600	0.4	5,000	30.4	525.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	10,324,150株	2023年3月期	10,324,150株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	915,230株	2023年3月期	800,929株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	9,489,499株	2023年3月期1Q	9,765,296株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 自己株式に関する情報

当社は、従業員株式所有制度に基づく「株式給付信託（J-E S O P）」及び取締役等に対する株式報酬制度として「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を四半期連結財務諸表において自己株式として計上しております。したがって、1株当たり四半期純利益又は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、及び1株当たり純資産を算定するための期末の普通株式及び普通株式の期中平均株式数について、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を控除しております。なお、2023年6月30日現在において、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する自己株式はそれぞれ65,000株及び62,244株であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、経済活動が徐々に正常に戻りつつある中で、原材料や燃料価格の高騰による影響等、引き続き不透明な状況が続いております。

また、長距離トラック輸送力の確保、輸配送効率の高い物流ネットワークの構築、労働力不足の対応等、対処すべき課題を多く抱えております。

当社グループは、これら物流業界の課題を踏まえ、2021年4月より新たな中期経営計画「TRANCOM VISION 2025」をスタートし、中長期ビジョン「“はこぶ”を創造する」を掲げました。3年目となる当期においては、「はこぶ」仕組みづくりに向けて、「人財」「事業」「DX・ICT」を成長の柱に据え、事業展開のスピードアップを図っております。

具体的な取り組みとして、2021年7月北関東エリアに戦略拠点として開設した大型物流センターを中心に、生活用品、菓子の物流プラットフォームの拡充を進めております。更に他エリアにおいても、求貨求車や中ロット混載輸送、パレット回収、物流センター内業務の自動化など、トランコム独自のサービスやノウハウを基に、新たに南関東エリア、中部エリア、関西エリアへ戦略拠点を開設し、日用品・菓子・加食業界の物流プラットフォーム構築を進めてまいります。

また、SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みやESG（環境・社会・ガバナンス）活動は社会的使命と認識しています。創業以降、共同配送サービスや求貨求車サービスなど事業活動を通じた環境負荷低減に取り組んできました。引き続き様々な社会課題の解決に取り組み、持続可能な物流サービスを提供してまいります。

当社グループの当期の連結業績は、以下のとおりです。なお、前第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間については、暫定的な会計処理の確定による取得価額の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

(トランコムグループの連結業績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率 (%)
売上高	41,556	41,692	135	0.3
営業利益	1,888	1,944	56	3.0
経常利益	1,999	1,990	△8	△0.4
親会社株主に帰属する当期純利益	1,310	1,217	△92	△7.1

(事業セグメント別の業績)

(単位：百万円)

		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率 (%)
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	13,580	13,980	400	3.0
	営業利益	1,059	1,156	97	9.2
物流情報サービス 事業	売上高	22,937	22,927	△10	△0.0
	営業利益	665	542	△123	△18.6
インダストリアル サポート事業	売上高	1,467	1,453	△14	△1.0
	営業利益	81	34	△47	△58.0
その他	売上高	3,954	3,740	△213	△5.4
	営業利益	172	234	62	36.3
連結消去	売上高	△382	△409	△26	—
	営業利益	△91	△23	68	—
連結合計	売上高	41,556	41,692	135	0.3
	営業利益	1,888	1,944	56	3.0

ロジスティクスマネジメント事業については、前期稼働した新たな物流業務拠点が寄与、北関東エリアの収益性の改善により増収増益となりました。

物流情報サービス事業については、貨物情報数は前年同期比2.3%増加、空車情報数は同2.3%減少、成約件数は同0.5%増加となりました。新たな拠点の開設と既存拠点の人員体制強化に加え輸送協力会社への支払いが上昇し減収減益となりました。

インダストリアルサポート事業については、生産領域に加え物流領域への業務拡大を行ってまいりましたが、既存拠点における業務縮小により減収減益となりました。

その他に区分される事業については、前期に情報システム外販事業の譲渡を行ったことにより減収も、海外拠点における業容の拡大により増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の前連結会計年度末との比較情報は、次のとおりであります。

① 資産

流動資産は、自己株式の取得に備えるため、預け金が1,239百万円、賃貸借契約などにより、前払費用が122百万円、それぞれ増加した一方、現金及び預金が2,475百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が564百万円、それぞれ減少したことなどにより、1,140百万円減少し47,851百万円となりました。

固定資産は、設備投資などにより、有形固定資産が98百万円、無形固定資産が171百万円、株価の上昇などにより、投資その他の資産が100百万円、それぞれ増加したことなどにより、369百万円増加し23,423百万円となりました。これらにより資産合計は、770百万円減少し71,274百万円となりました。

② 負債

流動負債は、夏季賞与の確定社会保険料などにより、未払費用が1,002百万円増加した一方、買掛金が630百万円、確定納付などにより、未払法人税等が1,006百万円、それぞれ減少したことなどにより、924百万円減少し18,157百万円となりました。

固定負債は、リース債務の増加などにより、128百万円増加し4,138百万円となりました。これらにより負債合計は、795百万円減少し、22,295百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、利益剰余金が639百万円増加したことなどにより、24百万円増加し48,978百万円となり、自己資本比率は68.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月26日の「2023年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,450	19,975
受取手形、売掛金及び契約資産	25,192	24,628
商品	27	45
仕掛品	2	12
貯蔵品	24	24
前払費用	842	964
預け金	—	1,239
その他	453	962
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	48,991	47,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,455	10,544
減価償却累計額	△5,520	△5,633
建物及び構築物(純額)	4,935	4,910
機械装置及び運搬具	8,612	9,039
減価償却累計額	△6,537	△6,733
機械装置及び運搬具(純額)	2,074	2,305
土地	3,005	3,005
リース資産	2,336	2,336
減価償却累計額	△1,964	△2,015
リース資産(純額)	372	321
使用権資産	3,212	3,511
減価償却累計額	△1,147	△1,267
使用権資産(純額)	2,065	2,243
建設仮勘定	422	202
その他	1,875	1,899
減価償却累計額	△1,231	△1,270
その他(純額)	643	628
有形固定資産合計	13,520	13,618
無形固定資産		
のれん	351	333
ソフトウェア	1,160	1,163
ソフトウェア仮勘定	299	500
顧客関連資産	241	227
その他	150	149
無形固定資産合計	2,203	2,374
投資その他の資産		
投資有価証券	4,201	4,323
繰延税金資産	356	105
差入保証金	2,552	2,773
その他	236	244
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	7,329	7,429
固定資産合計	23,053	23,423
資産合計	72,045	71,274

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,582	11,951
リース債務	648	677
未払金	1,723	1,527
未払費用	1,302	2,305
未払法人税等	1,247	241
未払消費税等	563	845
賞与引当金	614	226
役員賞与引当金	—	8
その他	399	373
流動負債合計	19,081	18,157
固定負債		
リース債務	2,024	2,113
繰延税金負債	60	56
再評価に係る繰延税金負債	53	53
株式給付引当金	356	371
役員株式給付引当金	374	386
退職給付に係る負債	97	92
資産除去債務	681	701
その他	359	361
固定負債合計	4,010	4,138
負債合計	23,091	22,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,642	1,646
利益剰余金	47,548	48,188
自己株式	△3,111	△3,874
株主資本合計	47,159	47,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	659	664
土地再評価差額金	△44	△44
為替換算調整勘定	707	815
退職給付に係る調整累計額	△3	△3
その他の包括利益累計額合計	1,319	1,431
新株予約権	100	100
非支配株主持分	374	406
純資産合計	48,953	48,978
負債純資産合計	72,045	71,274

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	41,556	41,692
売上原価	38,749	38,895
売上総利益	2,807	2,796
販売費及び一般管理費	919	851
営業利益	1,888	1,944
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	17
持分法による投資利益	27	14
助成金収入	72	31
その他	35	21
営業外収益合計	152	83
営業外費用		
支払利息	27	30
固定資産除却損	0	4
その他	13	2
営業外費用合計	41	38
経常利益	1,999	1,990
特別損失		
減損損失	—	51
特別損失合計	—	51
税金等調整前四半期純利益	1,999	1,938
法人税、住民税及び事業税	432	456
法人税等調整額	232	244
法人税等合計	665	701
四半期純利益	1,333	1,237
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,310	1,217
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	20
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	4
為替換算調整勘定	446	119
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	535	125
四半期包括利益	1,869	1,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,796	1,330
非支配株主に係る四半期包括利益	73	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,577	22,913	1,458	37,949	3,607	41,556	—	41,556
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	24	9	35	347	382	△382	—
計	13,580	22,937	1,467	37,984	3,954	41,939	△382	41,556
セグメント利益	1,059	665	81	1,807	172	1,979	△91	1,888

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び情報システム開発事業等により構成しております。

2. セグメント利益の調整額△91百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、のれんの償却額△89百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 2023年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第1四半期連結累計期間については、暫定的な会計処理の確定による取得価額の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,975	22,903	1,426	38,304	3,387	41,692	—	41,692
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	23	26	56	353	409	△409	—
計	13,980	22,927	1,453	38,361	3,740	42,101	△409	41,692
セグメント利益	1,156	542	34	1,733	234	1,967	△23	1,944

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び情報システム開発事業等により構成しております。

2. セグメント利益の調整額△23百万円には、セグメント間取引消去2百万円、のれんの償却額△25百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、当社所有の建物・器具備品について、移転により収益を見込めなくなったことから、当該資産の帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては51百万円であります。